

【理事会・評議員会に関する事項】

第1回理事会

1. 日 時 令和3年6月3日(木) 11時00分～11時50分
2. 場 所 山形グランドホテル 8階「アドリア」(山形市本町1丁目)
3. 理事総数および定足数 理事総数10名 定足数6名
4. 出席者

理 事	寒河江 浩 二 (代表理事)
理 事	遠 藤 健 悟
理 事	矢 口 俊 雄
理 事	杉 本 肇
理 事	小 澤 成 光
理 事	鈴 木 千 岳
理 事	阿 部 直 美
理 事	佐 藤 秀 之
理 事	伊 藤 清 隆
理 事	菅 野 滋 (業務執行理事・館長) 以上10名
監 事	中 山 眞 一
監 事	長谷川 憲 治
顧 問	黒 澤 洋 介
顧 問	高 橋 邦 芳
オブザーバー	富 樫 麗

(山形県観光文化スポーツ部文化振興・文化財活用課文化振興主査)

5. 議 事

【報告事項】 主な運営事業について

【協議事項】

- 第1号議案 令和2年度事業報告および決算(案)の件
 - 第2号議案 理事補充選任候補者(案)の件
 - 第3号議案 評議員補充選任候補者(案)の件
 - 第4号議案 令和3年度定時評議員会開催(案)の件
- その他

6. 議事の経過およびその結果

(1) 開会

菅野館長(業務執行理事)より開会宣言があり、寒河江代表理事があいさつに立った。

「令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、入館者数が30,202人とどまるなど、大変厳しい1年だった。経費の大幅な見直しを行うことで健全経営に努める

とともに、国・県・市からの支援を受け懸案の来館者エレベーター更新など施設設備更新などを進めてきた。令和3年度は春の「木梨憲武展」で幕を開けた。芸能人による元気の出る楽しい作品だったこともあり、コロナ禍の中でも27,637人の入館者を集めることができた。夏には「国立西洋美術館コレクション展」、その後も企画展を開催していく。今年度は三県展も開催していく。」と述べた。

(2) 議長選出、定足数確認、議事録署名人について

菅野館長より、「議長は定款により代表理事がこれに当たる」との説明があり、寒河江代表理事が議長に就いた。

議長より求められた定足数について、長岡事務局長より、理事総数10名中10名全員が出席しており、開催要件の過半数である定足数を充足していること、および監事2名、顧問2名、オブザーバー1名が同席することが報告された。議事録署名人については代表理事と出席監事がこれに当たることを確認し、議案の審議に入った。

【報告事項】

主な運営事業について、長岡事務局長より、令和3年度の山形新聞・山形放送をはじめ山形市、山形県、山形県生涯学習文化財団からの補助金の入金状況、運営・管理等に関する事項が報告された。

【協議事項】

第1号議案 令和2年度事業報告および決算(案)の件

岡部副館長兼学芸課長よりプロジェクターを使った令和2年度事業の報告が行われた。令和2年度は春の「相田みつを展」で始まったが、新型コロナウイルス感染拡大により期間途中で山形県から「休業要請」が出され、休業明けに会期を延長して開催したこと、その後に予定されていた「ますむらひろし展」などの企画展も中止となったことが報告された。また、貸館施設貸与事業もほとんどがキャンセルとなり、大幅な減収となったこと、常設展コーナーを1階展示室にまとめ収蔵品による企画展を開催したことなどが報告された。

次に長岡事務局長より令和2年度の「理事会・評議員会に関する事項」、「登記・許可に関する事項」、「補助金等に関する事項」、「運営・管理等に関する事項」等の説明が行われた。その中で令和2年度は、山形新聞・山形放送より35,200,000円、山形市より30,000,000円、山形県より21,750,000円、県生涯学習文化財団より6,250,000円を受領したことが報告された。続けて鈴木事務局次長より「令和2年度決算報告」が行われ、貸借対照表では流動資産が未収金(4月に入金済)を合わせ38,416,391円あり、対前年比で-3,848,525円となったものの、特定資産にある建物附属設備(更新したエレベーターなど)が18,618,528円と増え、資産合計は1,975,456,304円となり対前年比で+6,555,778円となることなどが報告された。また、正味財産増減計算書では、当期経常増減額は会員減や企画展や施設貸与事業の中止などで落ち込み-23,381,236円となるが、減価償却費28,014,617円を除けば実質+4,633,381円なることが報告された。

引き続き、監事を代表して中山監事より「令和3年5月27日に長谷川監事と行った監査で、事業報告等は法人の状況を正しく示しており、また各計算書類、帳簿類は適正に処理されていることが認められた。」との監査報告があった。

以上審議の後、寒河江議長より第1号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第2号議案 理事補充選任候補者(案)の件

長岡事務局長より、人事異動等にともない矢口俊雄理事、杉本肇理事、佐藤秀之理事、伊藤清隆理事の4名より辞任届が提出されている報告があり、その補充選任候補者(案)として以下の4名が示された。

江袋一宏氏 公益財団法人山形県生涯学習文化財団専務理事

三條恵美氏 山形市企画調整部次長兼文化振興課長

青塚 晃氏 株式会社山形新聞社取締役報道局長

三浦重行氏 山形放送株式会社報道制作局長

※任期は前任者の残任期間となり、2022年(令和4年)6月まで。

以上審議の後、寒河江議長より第2号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第3号議案 評議員補充選任候補者(案)の件

長岡事務局長より、人事異動等にともない武田啓子評議員、大谷駿雄評議員、高橋剛文評議員の3名より辞任届が提出されている報告があり、その補充選任候補者(案)として以下の3名が示された。

齋藤直樹氏 山形県観光文化スポーツ部長

鈴木義孝氏 山形県芸術文化協会会長

生島信行氏 山形県立博物館館長

※任期は前任者の残任期間となり、2023年(令和5年)6月まで。

以上審議の後、寒河江議長より第3号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第4号議案 令和3年度定時評議員会開催(案)の件

長岡事務局長より本日承認された第1～3号議案については評議員会に諮り承認を得る必要があるため、定款に基づき、理事会の議決を経て代表理事が招集する令和3年度定時評議員会開催(案)が下記の通り示された。

1. 開催日時 令和2年6月18日(金) 午前10時30分より

2. 開催場所 山形グランドホテル(山形市本町)

3. 議 事

【協議事項】

第1号議案 令和2年度事業報告および決算(案)の件

第2号議案 理事補充選任の件

第3号議案 評議員補充選任の件

その他

以上審議の後、寒河江議長より第4号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

その他

事務局および役員より意見などはなかった。

7. 閉会

以上をもって、寒河江議長は全議案の審議を終了した旨を述べ、また、退任理事に対して感謝の言葉を述べ、11時45分に閉会を宣言した。

定時評議員会

1. 日 時 令和3年6月18日(金) 午前10時30分～午前11時13分

2. 場 所 山形グランドホテル2階「サンリヴァ」(山形市本町1丁目)

3. 評議員総数および定足数 現在数 11名 定足数 6名

4. 出席者

評議員 長谷川 吉 茂 (議 長)

評議員 武 田 啓 子

評議員 高 橋 剛 文

評議員 畑 口 和 久

評議員 酒 井 忠 久

評議員 仲 野 益 美

評議員 高 橋 まゆみ

評議員 平 井 康 博

評議員 板 垣 正 義

評議員 小 林 裕 明 (以上10名)

理 事 寒河江 浩 二 (代表理事)

理 事 菅 野 滋 (業務執行理事)

監 事 中 山 眞 一

監 事 長谷川 憲 治

オブザーバー 富 樫 麗

(山形県観光文化スポーツ部文化振興・文化財活用課文化振興主査)

5. 議 事

【協議事項】

第1号議案 令和2年度事業報告および決算(案)の件

第 2 号議案 理事補充選任の件

第 3 号議案 評議員補充選任の件

その他

6. 議事の経過およびその結果

(1) 開会

菅野館長（業務執行理事）より開会宣言があり、寒河江代表理事があいさつに立った。その中で、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、入館者が 30,202 人ととどまるなど、大変厳しい年度となった。このような状況を踏まえ、経費の大幅な見直しなど健全経営に努めた。また、国・県・市からの支援により来館者用エレベーター更新など施設整備を図った。令和 3 年度は「木梨憲武展」で幕を開けた。コロナ禍で厳しい状況だったが、27,637 人の来館者があった。7～8 月には「国立西洋美術館コレクションによる山形で考える西洋美術—〈ここ〉と〈遠く〉が触れるとき」、11 月には「山形現代作家展」、12 月から 1 月にかけては、「最上三十三観音 霊地やまがた」を開催予定だ。昨年度中止となった「山形県総合美術展」、「山形県総合書道展」も開催すべく準備していると述べた。

(2) 議長選出、定足数確認、議事録署名人について

菅野館長より、定款にもとづき評議員の中から議長を選出する旨の説明があり、小林裕明評議員からの推薦発言を受け、長谷川吉茂評議員を議長に選出した。長谷川議長より求められた定足数については、長岡事務局長より現在数 11 名中 10 名が出席して、開催要件の過半数である定足数を充足していることが報告された。また、議事録署名人については、定款にもとづき議長と議長以外の評議員の中から 2 名を選出することになっており、長谷川議長に一任することを全員が承諾。武田啓子評議員と小林裕明評議員を指名し、満場一致で承認された。

【協議事項】

第 1 号議案 令和 2 年度事業報告および決算(案)の件

岡部副館長兼学芸課長よりプロジェクターを使った令和 2 年度事業の報告が行われた。令和 2 年度は春の「相田みつを展」で始まったが、新型コロナウイルス感染拡大により期間途中で山形県から「休業要請」が出され、休業明けに会期を延長して開催したこと、その後に予定されていた「ますむらひろし展」などの企画展も中止となったことが報告された。また、貸館施設貸与事業もほとんどがキャンセルとなり、大幅な減収となったこと、常設展コーナーを 1 階展示室にまとめ収蔵品による企画展を開催したことなどが報告された。

次に長岡事務局長より令和 2 年度の「理事会・評議員会に関する事項」、「運営事業について」等の説明が行われた。その中で令和 2 年度は、山形新聞・山形放送より 35,200,000 円、山形市より 30,000,000 円、山形県より 21,750,000 円、県生涯学習文化財団より 6,250,000 円を受領したことが報告された。続けて鈴木事務局次長より「令和 2 年度決算

報告」が行われ、貸借対照表では流動資産が未収金（4月に入金済）を合わせ 38,416,391 円あり、対前年比で-3,848,525 円となったものの、特定資産の建物付属設備（更新したエレベーターなど）が 18,618,528 円と増え、資産合計は 1,975,456,304 円となり対前年比で+6,555,778 円となることなどが報告された。また、正味財産増減計算書では、当期経常増減額は会員減や企画展や施設貸与事業の中止などで落ち込み-23,381,236 円となるが、減価償却費 28,014, 617 円を除けば実質+4,633,381 円なることが報告された。

引き続き、監事を代表して中山監事より「令和3年5月27日に長谷川監事と行った監査で、事業報告等は法人の状況を正しく示しており、また各計算書類、帳簿類は適正に処理されていることが認められた。」との監査報告があった。

以上審議の後、長谷川議長より第1号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第2号議案 理事補充選任の件

長岡事務局長より、人事異動等にもとない矢口俊雄理事、杉本肇理事、佐藤秀之理事、伊藤清隆理事の4名より辞任届が提出されている報告があり、第1回理事会で承認された選任案として次の4名が示された。

江袋一宏氏 公益財団法人山形県生涯学習文化財団専務理事

三條恵美氏 山形市企画調整部次長兼文化振興課長

青塚 晃氏 株式会社山形新聞社取締役報道局長

三浦重行氏 山形放送株式会社報道制作局長

※任期は前任者の残任期間となり、2022年（令和4年）6月まで。

以上審議の後、長谷川議長より第2号議案について、一括審議について全員の了解を得たうえで諮ったところ、満場一致で承認された。

第3号議案 評議員補充選任の件

長岡事務局長より、人事異動等にもとない武田啓子評議員、大谷駿雄評議員、高橋剛文評議員の3名より辞任届が提出されている報告があり、第1回理事会で承認された選任案として次の3名が示された。

齋藤直樹氏 山形県観光文化スポーツ部長

鈴木義孝氏 山形県芸術文化協会会長

生島信行氏 山形県立博物館館長

※任期は前任者の残任期間となり、2023年（令和5年）6月まで。

以上審議の後、長谷川議長より第3号議案について、一括審議について全員の了解を得たうえで諮ったところ、満場一致で承認された。

その他 特になし

7. 閉会

長谷川議長は、以上をもって議案全ての審議を終了した旨を述べ、午前11時13分、閉会を宣言した。

第2回理事会

1. 日 時 令和3年12月7日(火)午後1時25分～午後1時48分
2. 場 所 山形グランドホテル 8階「アドリア」(山形市本町1丁目)
3. 理事総数および定足数 理事総数10名 定足数6名
4. 出席者

理 事 寒河江 浩 二 (代表理事)
理 事 遠 藤 健 悟
理 事 江 袋 一 宏
理 事 三 條 恵 美
理 事 小 澤 成 光
理 事 鈴 木 千 岳
理 事 阿 部 直 美
理 事 青 塚 晃
理 事 三 浦 重 行
理 事 菅 野 滋 (業務執行理事・館長) 以上10名
監 事 中 山 眞 一
監 事 長谷川 憲 治
顧 問 黒 澤 洋 介
顧 問 高 橋 邦 芳
オブザーバー 富 樫 麗

(山形県観光文化スポーツ部文化振興・文化財活用課文化振興主査)

5. 議 事

【報告事項】 運営事業について

【協議事項】

第1号議案 令和3年度補正予算(案)の件

第2号議案 令和4年度山形美術館事業計画(案)の件

その他

6. 議事の経過およびその結果

(1) 開会

参加者が全員揃ったため定刻より5分早く、午後1時25分に菅野館長(業務執行理事)より開会宣言があり、寒河江代表理事があいさつに立った。寒河江代表理事は冒頭、山形美術館が齋藤茂吉文化賞を受賞したことを報告、「長年にわたる取り組みが評価された。今後も本県美術文化の振興発展に尽力していく」と述べた。また本年は大きな企画展として春の「木梨憲武展 TIMING 瞬間の光り」、夏の「国立西洋美術館巡回 山形で考える西洋美術ー〈ここ〉と〈遠く〉が触れるとき」を開催、コロナ禍の中でも大勢

の入館者があったことも報告した。

(2) 議長選出、定足数確認、議事録署名人について

菅野館長より、「議長は定款により代表理事がこれに当たる」との説明があり、寒河江代表理事が議長に就いた。

議長より求められた定足数について、長岡事務局長より、理事総数 10 名中 10 名が出席しており、開催要件の過半数である定足数を充足していること、および監事 2 名、顧問 2 名、オブザーバー 1 名が同席することが報告された。議事録署名人については代表理事と出席監事がこれに当たることを確認し議案の審議に入った。

【報告事項】

運営事業について

長岡事務局長より「運営事業について」報告があった。「補助金に関する事項」では、山形新聞・山形放送、山形市、山形県、県生涯学習文化財団から運営寄付金、運営補助金、事業共催負担金、助成金の交付実績が紹介された。また、「運営・管理等に関する事項」では、今年度開催された企画展の紹介や設備改修工事なども報告された。

【協議事項】

第 1 号議案 令和 3 年度補正予算（案）の件

菅野館長より「第 1 号議案令和 3 年度補正予算（案）の件」についての説明があり、受取地方公共団体負担金が当初予算より 5,224,000 円増額となったことが報告された。以上審議の後、寒河江議長より第 1 号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第 2 号議案 令和 4 年度山形美術館事業計画（案）の件

岡部副館長・学芸課長より「令和 4 年度山形美術館事業計画（案）」について、大型企画展として春は「山形銀行所蔵 描かれたやまがたの四季」、夏は「ますむらひろし展」を、また、通年で服部、吉野、長谷川コレクションによる収蔵品テーマ展を、県芸術文化の振興のために県美展をはじめとする 3 県展などを開催する予定であるとの説明があった。

以上審議の後、寒河江議長より第 2 号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

その他

菅野館長より設備更新計画について「今年度はコロナ禍による当館運営への影響を見極めるために貨物用エレベーター更新工事を保留してきた。今後の状況をみながら具体案を提案していくことになる」との説明があった。

その他には役員、事務局から発言はなかった。

7. 閉会

以上をもって、寒河江議長は全議案の審議を終了した旨を述べ、午後 1 時 48 分に閉会を宣言した。

第3回理事会

1. 日 時 令和4年3月11日(金) 午前10時55分～11時26分
2. 場 所 山形グランドホテル 8階「アドリア」(山形市本町1丁目)
3. 理事総数および定足数 理事総数10名 定足数6名

4. 出席者

理 事	寒河江 浩 二 (代表理事)
理 事	江 袋 一 宏
理 事	小 澤 成 光
理 事	鈴 木 千 岳
理 事	阿 部 直 美
理 事	青 塚 晃
理 事	三 浦 重 行
理 事	菅 野 滋 (業務執行理事・館長) 以上8名
監 事	中 山 眞 一
監 事	長谷川 憲 治
顧 問	高 橋 邦 芳
オブザーバー	富 樫 麗

(山形県観光文化スポーツ部文化振興・文化財活用課文化振興主査)

5. 議 事

【報告事項】

運営事業について 前回理事会(令和3年12月7日)以降

【協議事項】

- 第1号議案 令和4年度事業計画(案)の件
 - 第2号議案 令和4年度予算(案)の件
 - 第3号議案 令和4年度資金調達及び設備投資の見込み(案)の件
- その他

6. 議事の経過およびその結果

(1) 開会

菅野館長(業務執行理事)より開会宣言があり、寒河江代表理事があいさつに立った。寒河江代表理事はその中で、今年度は「木梨憲武展 TIMING 瞬間の光り」に始まり、夏には山新・山放8大事業「国立西洋美術館巡回展ー〈ここ〉と〈遠く〉が触れるとき」、秋には「近藤亜樹ー星、光る」、冬には「霊地やまがたー最上三十三観音をたずねてー」を開催し、いずれも大好評だった。また、昨年度は新型コロナウイルス禍のため中止となった「山形県総合美術展」と「山形県総合書道展」も2年ぶりに開催、「山形県写真展」は例年通り現在開催中だ。令和3年度の来館者数は2月末現

在で 83,345 人と例年並みの数字となっていると述べた。

(2) 議長選出、定足数確認、議事録署名人について

菅野館長より、「議長は定款により代表理事がこれに当たる」との説明があり、寒河江代表理事が議長に就いた。

議長より求められた定足数について、長岡事務局長より、理事総数 10 名中 8 名の理事が出席しており、開催要件の定足数 6 名を充足していること、および監事 2 名、顧問 1 名、オブザーバー 1 名が同席することが報告された。議事録署名人については代表理事と出席監事がこれに当たることを確認し議案の審議に入った。

【報告事項】

運営事業について

長岡事務局長より、「運営事業について」が報告され、「補助金に関する事項」では、山形新聞・山形放送 (3,520 万円)、山形市 (3,000 万円)、山形県 (2,175 万円)、県生涯学習文化財団 (625 万円) から運営寄付金、運営補助金、事業共催負担金、助成金の交付実績が紹介された。「運営・管理等に関する事項」では、12 月に行われた会計検査院による「自動火災報知設備・非常放送設備更新工事」の検査、山形県による「公益財団法人の運営組織委および事業活動の状況」の立入検査が行われ、「指摘なし」と問題は何もなかったとの報告があった。

【協議事項】

第 1 号議案 令和 4 年度事業計画(案)の件

岡部副館長より令和 4 年度の事業計画案がプロジェクターを用いて説明された。主な企画展は春の「山形銀行所蔵 描かれたやまがたの四季」、夏の山新・山放 8 大事業「ますむらひろし展」。また、「山形県総合美術展」など 3 県展や収蔵品によるテーマ展なども紹介された。

以上審議の後、寒河江議長より第 1 号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第 2 号議案 令和 4 年度予算(案)の件

第 3 号議案 令和 4 年度資金調達及び設備投資の見込み (案)の件

菅野館長より令和 4 年度正味財産増減予算案の説明があった。経常収益計は 1 億 3,968 万 5,500 円となり対前年比較で 463 万 8,100 円の減。一方、経常費用計は 1 億 7,303 万円となり、対前年度比較で 228 万 4 千円の減となる。当期経常増減額は -3,334 万 4,500 円。減価償却費 2,967 万円を差し引いた、実質上の収支は -367 万 4,500 円となる。令和 4 年度の一般正味財産増減額 -3,334 万 4,500 円で、正味財産期末残高は 19 億 2,107 万 3,623 円になると説明した。

続いて、令和 4 年度資金調達及び設備投資の見込みについては、「山形美術館 002 号機荷物用エレベーター改修工事」を予定している。総工費 19,250,000 円 (税込み) については、三菱クレジットの「エレベーター安心クレジット」(金利 0%、頭金・担

保不要、最長7年の支払い期間)を活用したいとの説明があった。

以上審議の後、寒河江議長より第2号及び第3号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

その他

菅野館長より、10年ごとに義務付けされている外壁検査および修復工事を行わねばならない。経営状況をみながら今年度から着手したいと考えている。追って、理事会に諮っていくことになるとの報告があった。

その他、役員、事務局から発言はなかった。

7. 閉会

以上をもって、寒河江議長は全議案の審議を終了した旨を述べ、午前11時26分に閉会を宣言した。

令和3年度 運営事業について

【登記・許可に関する事項】

月 日	曜	内 容
7月20日	火	山形地方法務局へ役員変更にとまなう登記を完了。7月6日、県に変更を電子届。

【補助金等に関する事項】

月 日	曜	内 容
4月15日	木	山形放送より令和3年度の運営寄付金440万円を受領した。(1回目)
4月23日	金	山形県より令和2年度火災設備文化財保護(火災報知・非常放送設備)445,000円を受領した。
4月28日	水	山形市より令和2年度火災設備文化財保護(火災報知・非常放送設備)705,000円を受領した。
4月28日	水	文化庁より令和2年度火災設備文化財保護(火災報知・非常放送設備)4,331,000円を受領した。
5月17日	月	山形新聞社より令和3年度の運営寄付金440万円を受領した。(1回目)
5月18日	火	山形県文化芸術交流発信事業実行委員会より令和2年度の共催負担金2,651,113円を受領した。
6月3日	木	山形県より令和3年度山形県博物館共催事業負担710万円を受領した。(1回目)
6月3日	木	山形市より令和3年度山形美術館運営費補助金1,000万円を受領した。(1回目)
6月23日	水	山形県より令和3年度山形県博物館共催事業負担290万円を受領した。(2回目)
7月13日	火	山形県生涯学習文化財団より、令和3年度文化団体等連携支援助成金3,125,000円を受領した。(1回目)
7月15日	木	山形放送より令和3年度の運営寄付金440万円を受領した。(2回目)
8月16日	月	山形県より令和3年度山形県博物館共催事業負担470万円を受領した。(3回目)
8月16日	月	山形新聞社より令和3年度の運営寄付金440万円を受領した。(2回目)
9月2日	木	山形市より令和3年度山形美術館運営費補助金1,000万円を受領した。(2回目)
10月8日	金	山形県生涯学習文化財団より、令和3年度文化団体等連携支援助成金210万円を受領した。(2回目)
10月15日	金	山形放送より令和3年度の運営寄付金440万円を受領した。(3回目)
11月4日	木	山形県より令和3年度山形県博物館共催事業負担220万円を受領した。(4回目)
11月15日	月	山形新聞社より令和3年度の運営寄付金440万円を受領した。(3回目)

12月2日	木	山形市より令和3年度山形美術館運営費補助金1,000万円を受領した。(3回目)
1月7日	金	山形県より令和3年度山形県博物館共催事業負担260万円を受領した。(5回目)
1月11日	火	山形県生涯学習文化財団より、令和3年度文化団体等連携支援助成金102万5千円を受領した。(3回目)
1月14日	金	山形放送より令和3年度の運営寄付金440万円を受領した。(4回目)
2月15日	火	山形新聞社より令和3年度の運営寄付金440万円を受領した。(4回目)
2月15日	火	山形県より令和3年度山形県博物館共催事業負担225万円を受領した。(6回目)

【運営・管理等に関する事項】

月 日	曜	内 容
4月2日	金	「木梨憲武展 TIMING 瞬間の光り」開催。～5月9日まで。来館者27,637人。
4月2日	金	長谷川コレクション、吉野石膏コレクションの各テーマ展開催。
5月19日	水	「第20回日展山形会展」開催。～30日まで。
5月27日	木	中山眞一、長谷川憲治 両監事による令和2年度の監査。
6月7日	月	移動式パネル(2階)金具調整・交換工事。(249,700円)
6月7日	月	空調設備ドレンパン交換工事。老朽化による腐食した受け皿の水漏れ対策。(3,714,700円)
6月9日	水	非常灯(2階)交換工事。(495,000円)
6月18日	金	監視カメラ移設工事①。別館設置のものを1階展示室へ移動。
6月21日	月	監視カメラ移設工事②。別館設置のものを2階展示室へ移動。(①②計 304,370円)
7月17日	土	「令和3年度国立美術館巡回展 国立西洋美術館コレクションによる山形で考える西洋美術—〈ここ〉と〈遠く〉が触れるとき」開催。～8月27日まで。来館者15,601人。
7月27日	火	LEDスポットライト(1階展示室用照明)納品。(2,186,250円)
9月4日	土	第76回山形県総合美術展開催。～20日まで。
9月6日	月	齋藤茂吉文化賞受賞。
9月12日	日	消防訓練。

9月25日	土	第46回山形県総合書道展開催。～10月10日まで。
11月3日	水	齋藤茂吉文化賞贈呈式(文翔館)。
11月5日	金	山形現代作家展「近藤亜樹-星、光る」開催。～23日まで。来館者3,195人。
12月8日	水	会計検査院による自動火災報知設備更新工事、非常用放送設備更新工事への会計検査。指摘なし。
12月15日	水	「霊地やまがた―最上三十三観音をたずねて―」開催。～2022年1月23日まで。来館者2,534人。
12月16日	木	山形県による公益法人の運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査。指摘なし。
2月21日	月	外壁打音検査。検査実施は前年10月～11月。2月に検査結果報告後支払い。(1,485,000円)
2月24日	木	第56回山形県写真展開催～3月21日まで。
3月1日	火	AC-2区長期用蒸気加湿器(収蔵室の加湿器故障の為)更新工事。(735,900円)。

【令和3年度 維持会員入会状況】

令和3年4月1日～令和4年3月31日

単位：口

	令和3年度	令和2年度	増減	備考
法人会員	70	69	1	年間一口5万円 (特典：1口につき優待券10枚)
特別会員	20	15	5	年間一口7千円 (特典：同伴者3名入館可)
普通会員	502	388	114	年間一口5千円 (特典：同伴者1名入館可)

※学生会員 3名 (高校 年間一口2千円)

■ キャンパスメンバーズ制度加入校 11校 (前年 9校)

山形大学

東北芸術工科大学

東北文教大学

放送大学山形学習センター

東北文教大学短期大学

山形県立産業技術短期大学

山形デザイン専門学校

山形厚生看護学校

山形市立病院済生館高等看護学院

篠田看護専門学校

山形県立保健医療大学